

リプロセルグループの
米国医療機関とのネットワークを活用して

高品質なCOVID-19サンプルの ご提供が可能となりました。

COVID-19 生体試料

	製品名	品番	価格
①	Serum/Active infection donor	S-100	お問い合わせ下さい
②	Serum/Recovered donor	S-100	
③	Plasma/Active infection donor	P-100	
④	Plasma/Recovered donor	P-100	

- [Active infection donor] COVID-19感染がPCR検査にて陽性と確認されたドナー
- [Recovered donor] COVID-19に感染し、治療後にPCR検査にて陰性が確認されたドナー

バイオバンク設立 / 1989年

認 証 / CLIA (No.21D1059245)

責 任 者 / Rama Modali

提 携 機 関 / Fox Chase Cancer Center等

場 所 / メリーランド州 米国

顧 客 / 大手製薬会社を含む1,000機関以上

保有サンプル数 / 500,000 以上

出 荷 実 績 / 100,000サンプル以上

倫理審査委員会 (IRB) での 承認取得

- 生体試料の採取拠点・採取方法について事前に承認を取得しています。
- HIPAA法を遵守しています。

インフォームドコンセント

- すべてのドナーからインフォームドコンセントを得ています。
- オプションとして、コホート研究への同意事項が含まれています。

バーコード管理

- 生体試料はバーコード管理されており、匿名で取り扱われています。



株式会社リプロセル <https://www.reprocell.co.jp>

Tel 045-475-3887 fax 045-474-1006

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 3-8-11 メットライフ新横浜ビル9F



iPS細胞ビジネスのトップランナーとして



代表取締役社長

横山 周史

株式会社リプロセルは、2003年に京都大学・東京大学発の再生医療ベンチャーとして設立されました。2013年にはJASDAQへ上場し、現在日本・アメリカ・イギリス・インドに拠点を有し、グローバルにビジネスを展開しています。

リプロセルは創業以来、京都大学・東京大学・英国ダーラム大学等との共同研究を通じて世界最先端のiPS技術を集約し、先駆的にiPS細胞の事業化を進めています。2007年に京都大学の山中教授が、世界で初めてヒトiPS細胞を作製した実験でも、当社の培養液が使用されました。また2009年には、世界初のiPS細胞製品としてiPS心筋細胞の販売を開始しました。これまで当社の製品は、世界中5,000件以上の論文で引用されています。そして2016年より、本格的に再生医療分野に進出し、2020年からは、脂肪由来の幹細胞を用いた脊髄小脳変性症の臨床試験を開始しました。さらに、iPS細胞を用いたALS(筋萎縮性側索硬化症)の再生医療の研究開発も進めております。

リプロセルは、今後ともiPS細胞ビジネスのトップランナーとして再生医療・医学・バイオ技術の発展に貢献すべく、挑戦を続けてまいります。



会社概要

会社名 / 株式会社リプロセル

設立 / 2003年2月

上場 / 2013年(JASDAQ 4978)

本社所在地 / 神奈川県横浜市港北区新横浜三丁目8-11
メットライフ新横浜ビル9階

代表者 / 代表取締役社長 横山 周史

資本金 / 6,718百万円(2019年3月31日現在)



事業内容 /

① 研究支援事業

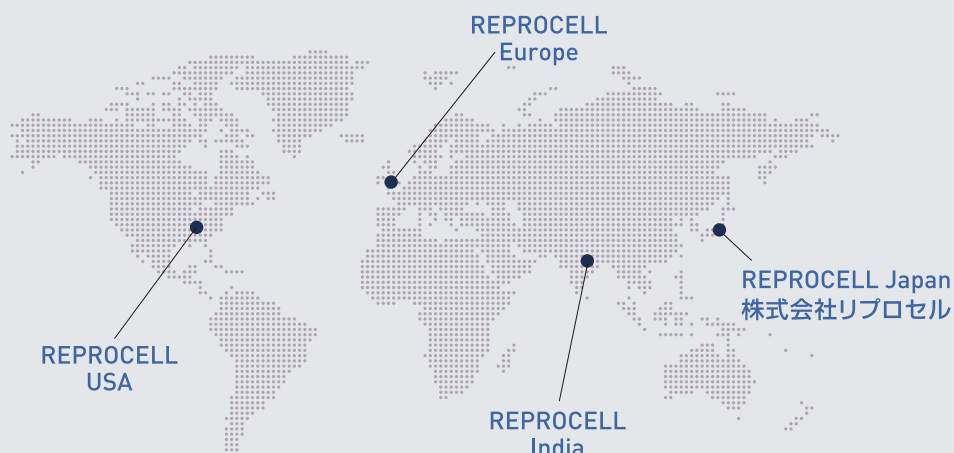
- iPS細胞関連研究試薬の製造・販売
- 創薬支援サービスの提供
- 生体試料の提供
- 遺伝子解析サービスの提供

② メディカル事業

- 臨床検査の受託サービス
- 再生医療等製品の開発



本社・新横浜中央研究所



湘南研究所



殿町・
リプロセル再生医療センター



〈米国拠点〉
REPROCELL USA Inc.



〈英国拠点〉
REPROCELL Europe Ltd.



〈インド拠点〉
REPROCELL India Ltd.